

2016 三井のリハウス 東京都U-12サッカーリーグ/ブロックリーグ

◆リーグ戦の趣旨◆

少年期における子どもたちの健全なる心身の発達を願い、技術、戦術、マナー、そしてサッカーのゲームを楽しみ、愛する心を育てる。
8人制の試合をすることにより、「判断」へのアプローチ場面を多くし、いろいろなポジションを経験しながら個々の「技術」の質を高める。
育成をめざし、多くの選手に試合経験を与えることとする。

【リーグ戦実施要項】

1. 主催

公益財団法人東京都サッカー協会

2. 主管

東京都少年サッカー連盟

3. 協賛

三井不動産リアルティ株式会社

4. 開催期間

前期＝4月第1週～6月第3週

中断期間＝6月第3週～7月第1週（登録変更手続き）

後期＝7月第1週～10月第1週

5. 試合会場

ブロックリーグ参加チームによる提供（原則ホーム＆アウェイ）
町田市・多摩市・稲城市それぞれ提供の会場で行う。

6. 参加資格・参加チーム

- ・参加チームは、大会実施年度に日本サッカー協会（以下「本協会」）第4種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）であること（準加盟チームを含む）参加チームの構成は、単一加盟チームに限られ、その加盟チームは年間を通じて継続的に活動していること。
- ・複数チーム参加は、6年生が30人以上登録されており、2チーム（A、Bチーム）ともに6年生だけの登録とする。参加選手は、上記加盟チームに所属する選手であること。
- ・グラウンド提供から会場運営など、リーグ戦運営に協力できるチームであること。
- ・引率指導者は参加チームを掌握指導する責任ある成人の指導者であること。
また内1名以上が本協会公認コーチ資格（D級コーチ以上・指導者講習会受講者・キッズ指導者資格者）を有すること。
そのチームの第1試合30分前までの登録用紙・選手証と共に指導者資格証も本部に提出する。

7. 試合方法

- ・9チーム以上のグループで、前期、後期を通じてリーグ総当り戦で行う。
- ・土、日で最大2試合までとする。
（土曜日1試合、日曜日1試合or土曜日か日曜日に2試合）
- ・3連休の扱いは土曜2試合、日曜なし、月曜1試合、土曜1試合、日曜なし、月曜2試合の3試合
- ・試合時間を短くする事により土、日で3試合まで認める。

8. 選手登録

- ・ブロックリーグ参加選手は所定の登録用紙に登録をすること。
- ・登録用紙に記載無き選手はメンバー登録は出来ない。
- ・選手証を所持していない選手は登録できない。但し申請中を証明できる者で役員の承認がある者は認める。
- ・そのチームの第1試合開始30分前までに顔写真貼付の選手証（原本）と登録用紙を会場本部に提出し内容確認を行う。
第2試合前は登録用紙のみを本部に提出し、当日の試合が終了後は本部が回収する。
- ・メンバー登録された選手は試合開始遅くとも5分前までに、用具とともに登録用紙の確認を受けることとする。
- ・必ず傷害保険（スポーツ安全傷害保険）に加入していること。

9. 選手の移籍と入替え

- ・ブロックリーグ戦開催中は原則移籍登録は不可。但し前期終了後に後期リーグでの同一団体の選手の入替えは可。
- ・特別な理由に該当する選手の移籍は認めるが同一大会に参加した選手は移籍後リーグ戦には参加できない。

10. 表彰

- ・特になし（各ブロックにて対応）
- ・成績結果は全日本少年サッカー大会ブロック大会予選に反映される。
- ・後期リーグ戦の成績結果は来年度のリハウスリーグ前期グループ分けに反映される。

11. 参加費

- ・前後期通して1万5千円

12. リーグ戦形式

- (1)各グループ(各グループ9チーム以上)の2回戦総当たり方式のリーグ戦を行う。
- (2)ブロックリーグ総合順位の決定は後期リーグの結果で決定
- (3)ブロックリーグ戦における順位の決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - ① 全試合の得失点差(総得点-総失点)
 - ② 全試合の総得点
 - ③ 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
 - ④ ①~③の全項目において同一の場合は、抽選により決定する。

13. 2部昇格リーグへの推薦規定

- (1)ブロックリーグ総合順位1位又はそれに準ずる成績上位でブロック委員長から推薦されたチーム。
- (2)昇格リーグを行う対象学年は2005年4月以降生まれの学年とする。(次学年)

14. 競技規則

- 本協会「8人制サッカー競技規則」による。
* 2016年度発表の新ルールはリハウス後期リーグには適用しない。

15. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

(1)競技のフィールド

- ①フィールドの表面は天然芝、人工芝が望ましいが、クレーでも可(ライン表示についてはマーカーコーンの使用可)
- ②フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)は50mを基本とし、照度が十分に確保されていること。交代ゾーンとして中央から両側に3mのマークを設ける。
- ③ペナルティエリア等・・・ペナルティエリア12mペナルティーマーク8m、ペナルティアークの半径7m、ゴールエリア4m、センターサークルの半径7m
- ④テクニカルエリアは設置しない。戦術指示はその都度ベンチのただ1名の指導者が伝えることが出来る。

(2)ボール

各チームから1個ずつ公認検定球を各会場で規定された試合開始前の時間までに会場本部に持ち寄る。

(3)競技者の数

- ①8人の競技者(うち1人はゴールキーパー)が試合に出場する。
* 一方のチームが8人に満たない場合は試合を開始しない。試合中の負傷者・退場者は即時補充する。
* 試合開始時から試合終了時まで、2人以上(3人以上)のチーム役員(登録用紙に記載された役員)がベンチにいななければならない。(内1名は指導者資格保持者でなければならない)
- ②試合に出場出来る競技者は試合当日のメンバー表登録者で、人数に制限は設けない。
- ④フィールドプレーヤーは交代ゾーンからいつでも自由な交代が出来るが、ゴールキーパーの交代は主審に通知し、試合の停止中に行う。交代要員はユニフォームと異なる色(ビブス等)を着用する。

(4)競技者の用具(ユニフォーム)

- ①リーグ戦実施年度の日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。
- ②選手番号は規定(背面:縦25cm-35cm、前面:縦10cm-15cm)サイズを適宜縮小することができる。
- ③番号表示はシャツの背面及び前面とする。ショーツには表示を推奨する。
- ④ユニフォームのメーカーロゴの違い、ストッキングのライン数には言及しない。
- ⑤当日の対戦相手とユニフォームの色確認を用具チェック前に行っておくこと。
- ⑥ゴールキーパーの予期せぬ事態でのフィールドプレーヤーとの交代の場合、試合で使用していない正副いずれかのシャツで本人の番号であれば着用可能。
それが難しい場合は番号無しの安全なジャージ等の着用を認める。
- ⑦その試合で必ずフィールドプレーヤー(FP)に代わることが決まっているゴールキーパー(GK)のパンツとストッキングは、最初からフィールドプレーヤーのものを着用しても良い。⇒そのGKは必ずFPにならなければならない。

(5)審判

試合は、1人の主審と1人の補助審判(必須)で運営される。
参加チームは有資格審判員1名を帯同していること。

(6)試合時間

熱中症対策の為に後期リーグの試合時間は30分(前後半各15分)とする。
ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで):基本5分間(但しWBGT指数における対応時間は別)

16. 懲罰

- (1) 本リーグ戦期間中に警告を3回受けた選手は、次の1試合は出場停止となる。
本リーグ戦全日程終了時点で、累積警告は消滅するものとする。
- (2) 本リーグ戦において退場、退席を命じられた選手、役員は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については規律フェアプレー委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充する。
主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (3) 試合が成立しなかった場合(選手証不携帯、試合開始時に選手8名揃わない、試合中に7名以下になった場合、チーム役員がいない等)は棄権試合とし、取り扱いは次の通りとする。
 - ① 不戦勝チームには、勝ち点3、得点3を与える。
 - ② 不戦敗チームには、勝ち点マイナス1、得点0とする。
- (4) 試合会場本部で判断ができない事象が発生した場合は、速やかにブロック事務局に確認を取ること。
万一、ブロック事務局に連絡が取れない場合は、予定通り試合を行うがブロック事務局預かりとするので、ブロック事務局の判断が決定するまでは、試合後の結果報告書の指導者確認サインは受けないこと。
(ブロック事務局が直接署名を受領)
- (6) 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、規律フェアプレー委員会にて決定する。

17. 熱中症対策

- 日本サッカー協会の「熱中症対策ガイドライン」に従った対応を各会場で行う事を必須とする。
- *WBGT=31°(人工芝は=28°)以上となる時刻に、試合を始めない。(キックオフ時間を設定しない。)
やむを得ず行う場合は『JFA熱中症対策<A+B>』を講じた上でCoolingBreakを必ず行う。
 - *WBGT=28°(人工芝は25°)以上となる時刻が試合時間に含まれる場合は両ベンチ・補助審運営部分に日影を作り、氷やスポーツドリンク、経口補水液等を用意し、試合にはCoolingBreakを設ける。
 - *WBGT=25°(人工芝は22°)以上の場合は飲水タイムを行う(CoolingBreakを行っても良い)
 - *中止や延期の判断は試合開始前もしくはハーフタイム時に限る。プレー中の対応・変更はしない。
 - *中止や延期の判断は試合前は本部が決定し、試合中は主審が判断し本部と協議の上、前半で試合を終了する。
 - *中止した試合はグループ担当と役員が相談の上代替え日を決める。前半で終了した試合の代替えは後半から行う。
 - *各グループは試合の度に当日の『本部』の役割を担うものを複数選定する。
 - *運営担当者は必ず【黒球式】WBGT計測器を持参する事。11bから幹事チームに貸出したWBGT測定器がその会場に終日設置される場合はそれを利用する事も出来る。(事前に幹事担当者に確認が必要)
 - *計測は必ずピッチ上で計測器の黒球が日影にならないよう、選手の身長 \times 2/3程の高さに設置(吊下げか三脚に固定)する。
(150cm平均と仮定した場合は約100cmの高さ・・・コーナフラッグの旗の下紐に引っ掛けると約1mになる・・・目安)
 - *全ての試合のキックオフ直前とハーフタイム時に計測を行い、運営担当者は結果報告書の指定の欄にキックオフ時とハーフタイム時それぞれのWBGT指数を記載する。
 - *主審はWBGT指数に対応した場合、「本部による決定で試合中止」や「試合中選手が熱中症になる可能性が起きたのでハーフタイムで中断し、以降は・・・」等々を審判報告書の『その他の報告事項』欄に記載する。
- *熱中症対策で試合が中止延期になる事を考慮して後期リーグ戦は30分ハーフに変更する。**

【参考資料】

- サッカー競技規則 http://www.jfa.jp/documents/pdf/soccer/law_soccer_all_11_2014.pdf
- 8人制サッカー競技規則 <http://www.jfa.jp/documents/pdf/eight/rules.pdf>
- JFA熱中症対策ガイドライン http://www.jfa.jp/about_jfa/report/PDF/k20160310_6.pdf